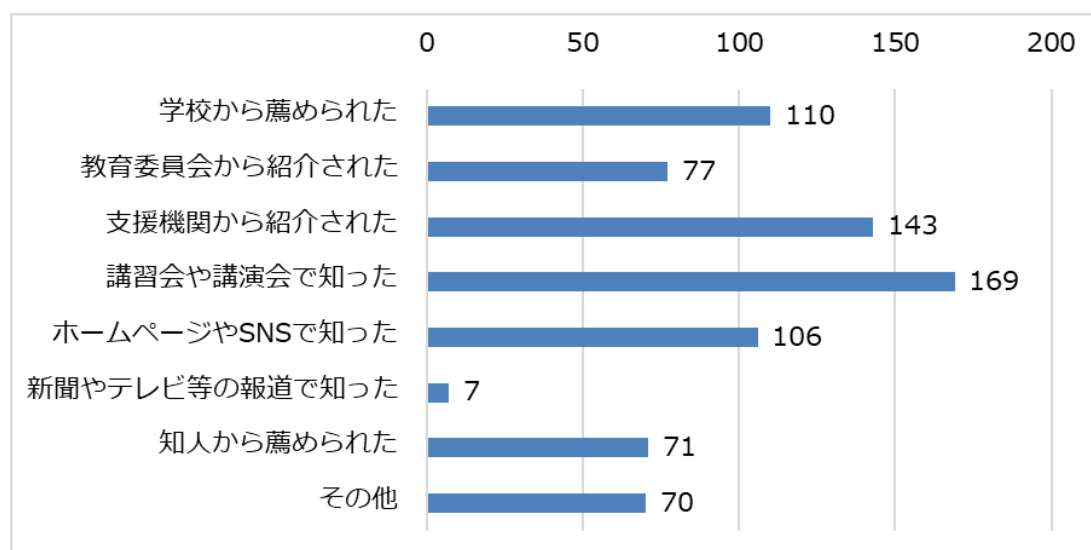


内容

Q1.デジ教科書をどこで知ったか(多肢選択)についての結果.....	2
Q2.保護者・本人が一般申請をした理由(197件の自由記述をAIで解析).....	2
Q3.申請手続きについて.....	3
Q4.デジ教科書以外の読み上げ機能を持つ教材について知っているか.....	3
Q5.使用している教科書や教材.....	3
Q6.学習者用デジタル教科書を使っている場合の特別支援機能の利用状況.....	4
使っている学習者用デジタル教科書の特別支援機能.....	4
Q7.教科書、教材との併用.....	4
併用(紙の教科書とデジ教科書)理由の層別(105件の自由記述をAIで解析件を層別).....	4
1. 併用の「目的・学習スタイル」による層別.....	5
2. 併用せざるを得ない「課題・制約」による層別.....	5
Q8.デジ教科書への要望・意見等.....	6
Q8-1.デジ教科書で便利な点.....	6
Q8-2.2026年度新規付加機能(テキストコピー機能)のニーズ分類に対する意見.....	6
テキストコピー機能の必要だと思う理由の分類(AIによる解析).....	6
Q8-3.デジ教科書への全般的な要望分類(AIによる解析).....	7
1. 音声・読み上げ機能の改善に関する事例.....	7
2. 申請・ダウンロード・操作性に関する事例.....	8
3. 周知・普及・理解促進に関する事例.....	8
4. 学習支援・機能拡張に関する事例.....	8
5. 画面表示・レイアウト・フォントに関する事例.....	8
6. 利用期間・対象学年の拡大に関する事例.....	8

Q1.デイジー教科書をどこで知ったか(多肢選択)についての結果

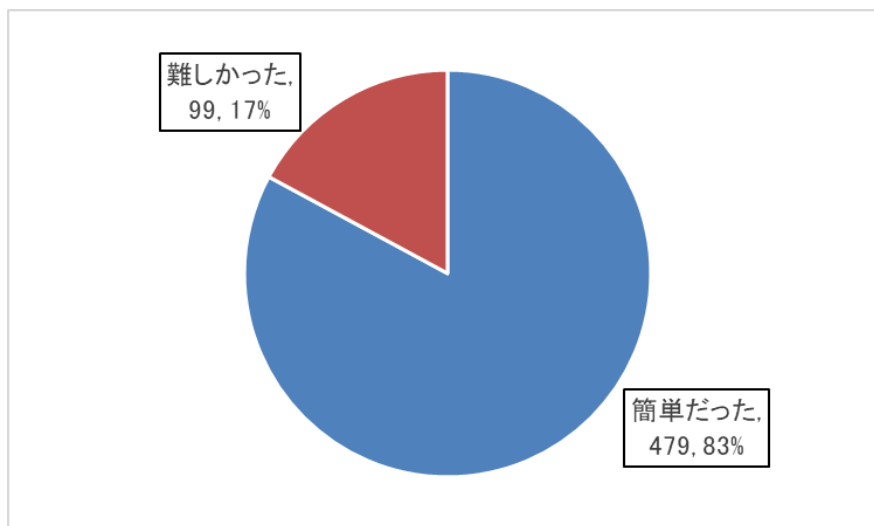


Q2.保護者・本人が一般申請をした理由(197件の自由記述をAIで解析)

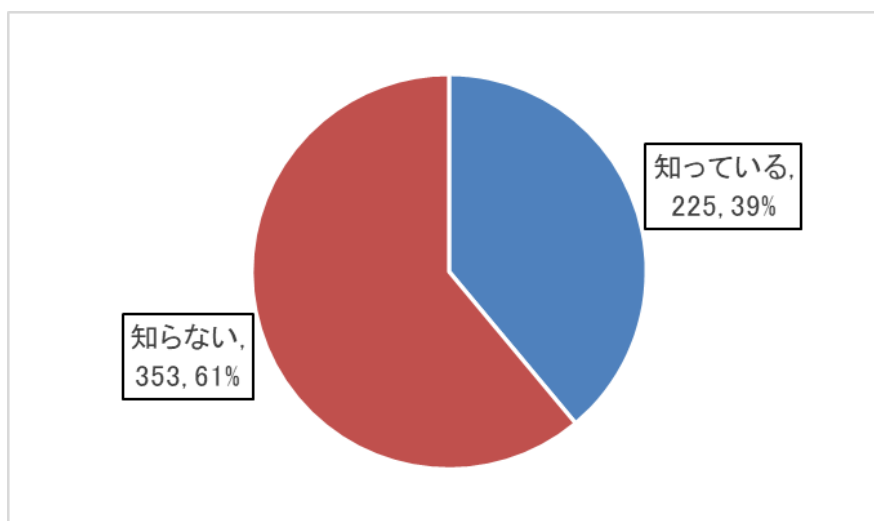
保護者等が学校関係者を介さない申請をした理由は、その上位3位(約70%)までを学校側の知識不足、手続きの遅さ、組織の対応力不足が占めており、子どもの『教科書にアクセスして学ぶ権利』を守るための、親による防衛策であるという構造が現れている。

順位	カテゴリ(層別)	件数	占有率	主な背景・動機
1位	学校・教育委員会の知識不足・未対応	68件	34.5%	デイジーを知らない、前例がない、相談しても動かない、たらい回し。
2位	スピード・即時性の重視(授業・テスト対策)	37件	18.8%	個人申請の方が早い、学校の遅い承認プロセスを待てない。
3位	学校・先生からの指示や推奨	32件	16.2%	学校や担任、通級の先生から「個人で申請して」と言われた。
4位	家庭学習・宿題での利用に限定	25件	12.7%	宿題の音読、自宅での予習復習用。学校では目立ちたくない。
5位	専門機関(医療・療育等)からの勧め	15件	7.6%	病院の診断、心理士の検査(WISC等)でデイジーを推奨された。
6位	学校・先生への心理的配慮(負担軽減)	13件	6.6%	先生が多忙で申し訳ない、手間をかけたくない、関係性の維持。
7位	制度の認知不足(一括申請を知らない)	4件	2.0%	学校単位の申請制度があること自体を知らなかった。
8位	環境的・身体的要因(不登校・負担等)	3件	1.6%	不登校、海外在住、身体が小さく教科書が重いため。

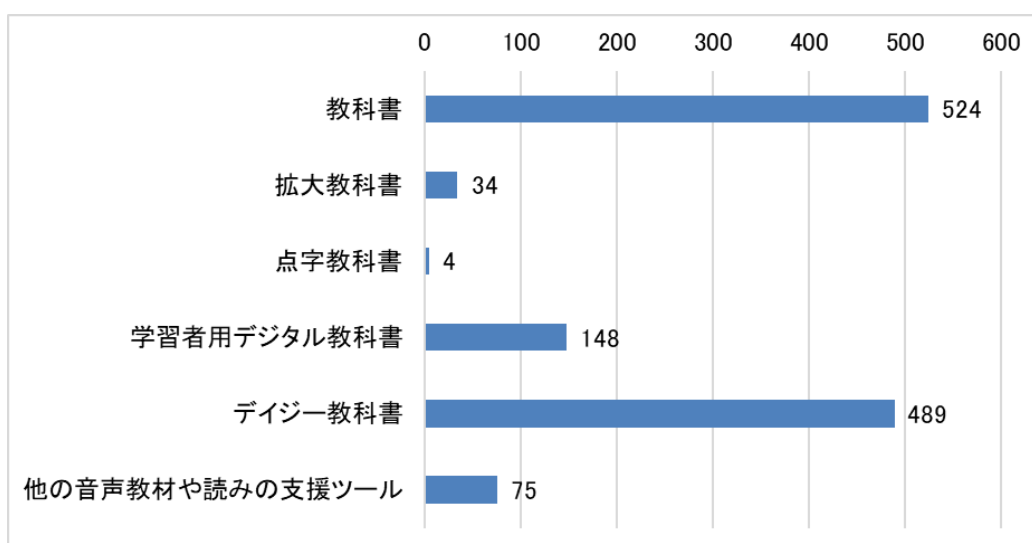
Q3.申請手続きについて



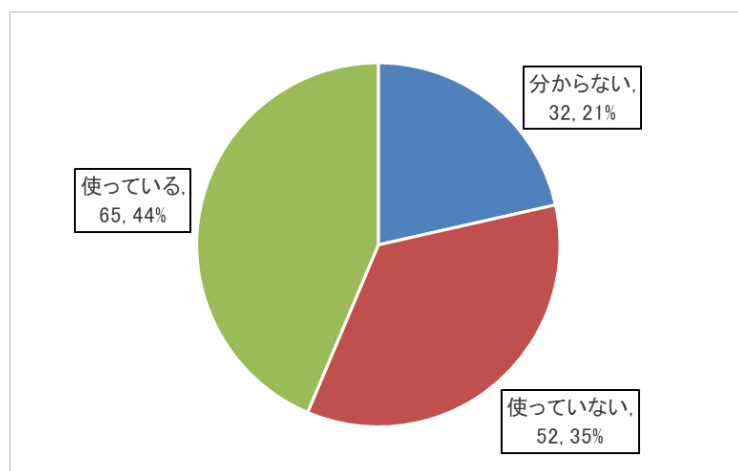
Q4.デージー教科書以外の読み上げ機能を持つ教材について知っているか



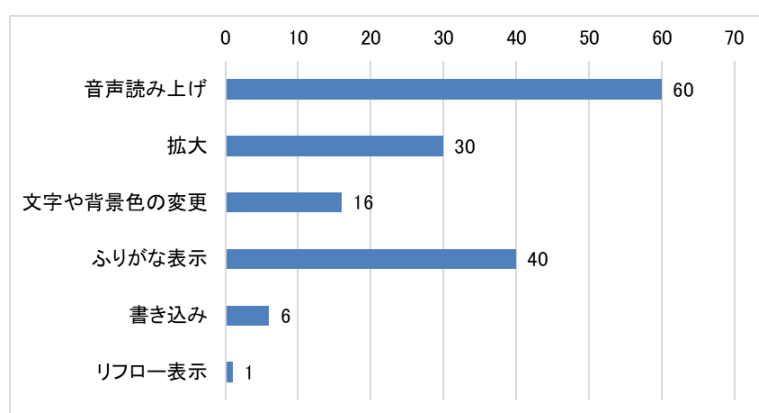
Q5.使用している教科書や教材



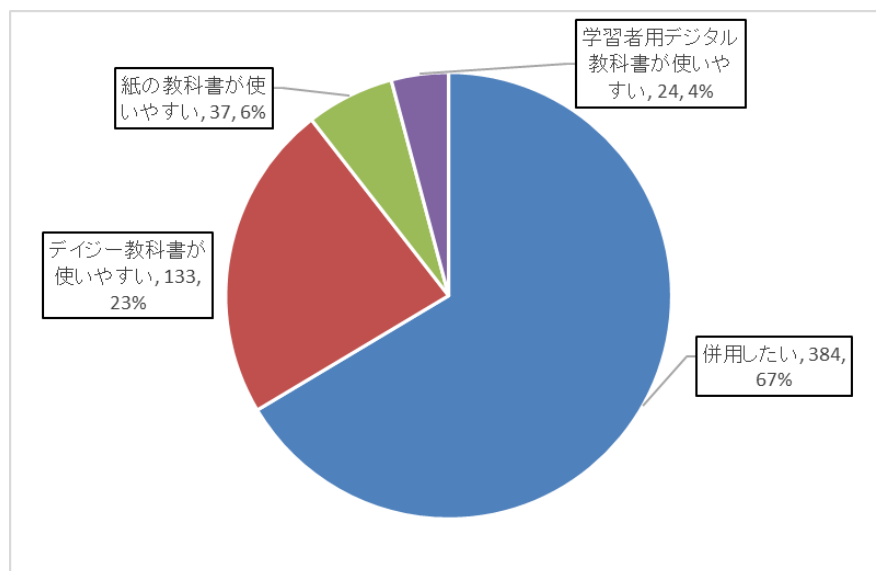
Q6.学習者用デジタル教科書を使っている場合の特別支援機能の利用状況



使っている学習者用デジタル教科書の特別支援機能



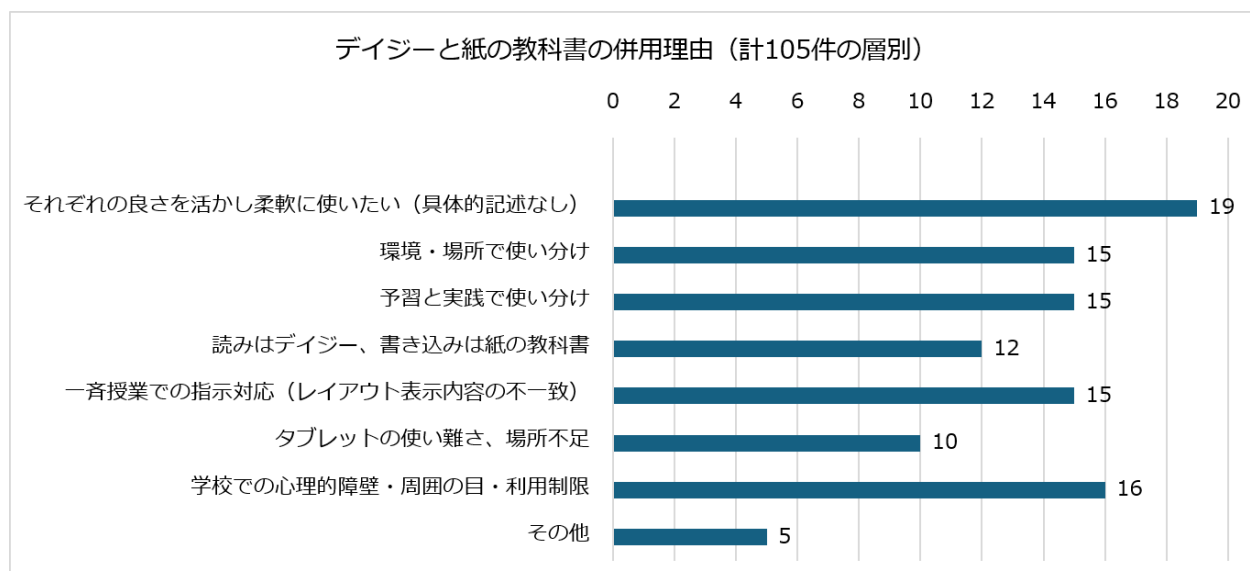
Q7.教科書、教材との併用



併用(紙の教科書とデージー教科書)理由の層別(105 件の自由記述を AI で解析件を層別)

「紙かデジタル(デージー)か」の二者択一ではなく、子どもたちは学びの道具として、これらをハイブリッドに使いこなしている。

デージーは「読みのハードルを下げ、内容を理解する」という自立の道具として機能しているが、同時に「みんなと同じ教材で学びたい、特別視されたくない」という心理的欲求を満たすための紙の教科書という位置づけも垣間見れる。



1. 併用の「目的・学習スタイル」による層別

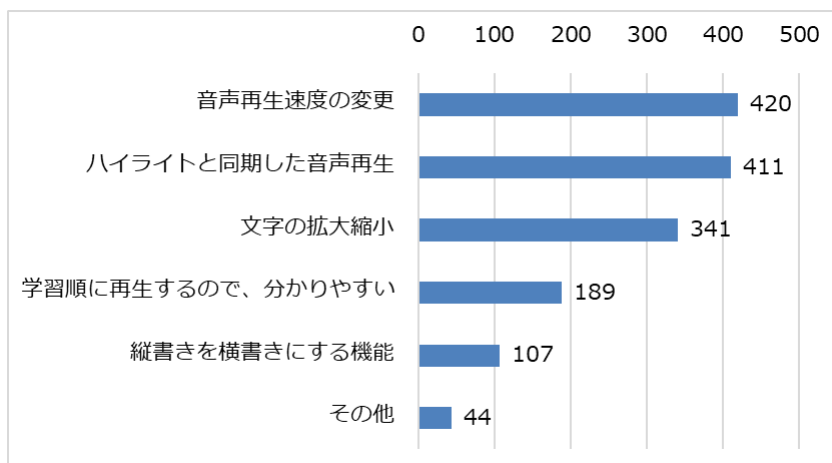
- 【環境・場所使い分け型】（学校＝紙 / 自宅＝デジター）
 - 特徴：周囲の目や学校のルールに合わせて、場所で完全に切り分ける。
 - 当事者の声：「学校はみんなと同じ紙の教科書。宿題や音読練習、置き勉強対策として家でデジターを活用する」。
- 【予習・ステップアップ型】（デジター ⇒ 紙）
 - 特徴：まずデジターで内容を頭（耳）に入れ、負荷を減らした状態で紙の教科書に移行する。
 - 当事者の声：「先にデジターで聴くことで内容を何となく覚え、授業中に紙の教科書を自力で読めるようになる」「読みの負荷が減り自信に繋がる」。

2. 併用せざるを得ない「課題・制約」による層別

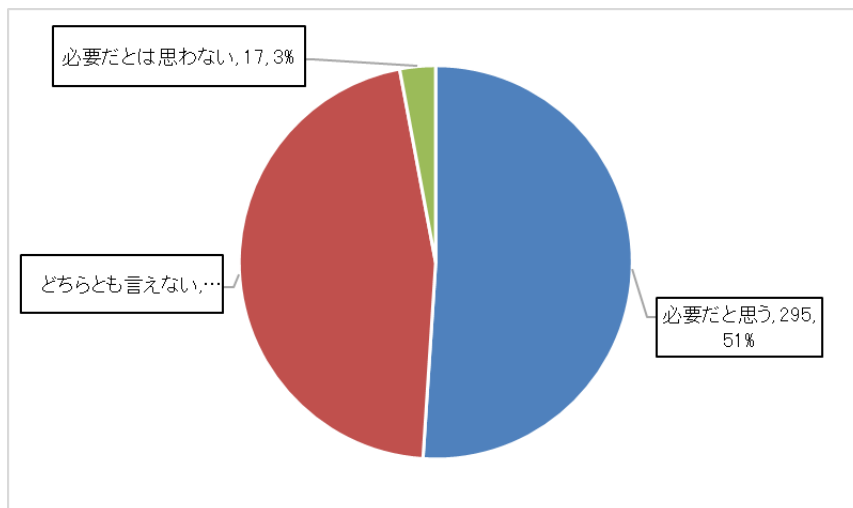
- 【役割・機能分担型】（インプット＝デジター / アウトプット＝紙）
 - 特徴：読む行為はデジターに頼り、考える・書く行為は紙で行う。
 - 当事者の声：「音声で確実に読み取ってから、紙に線を引いたり書き込んだりする」「書き込みやスラッシュを入れたり丸を付けたり等は紙媒体の方がやりやすい」。
- 【レイアウトとシステムの問題】（見失い・迷子）
 - 特徴：デジターはルビや拡大によって紙とページの見た目が変わり、一斉授業で使い難い。
 - 当事者の声：「先生の指示したページや場所を見つけにくい」「レイアウトが異なるため、ほしい情報にたどり着くのが困難」。
- 【学校のハード面、タブレットの応答】（物理的限界）
 - 特徴：机の狭さ、タブレットの制限。
 - 当事者の声：「机が狭くて紙とパソコンを両方開けない」「学校のタブレットが重すぎる」「デジターとほかのアプリを1つの画面で開いて使うのは難しい」。
- 【心理的障壁・同調圧力】（周囲の目）
 - 特徴：通常学級において「みんなと違うものを使う」「ズルしていると思われるのではないか」という葛藤。
 - 当事者の声：「学校でデジター教科書を使ってほしい。ひとりだと使えない」「席替えなどの環境の変化で使いにくくなる（周囲の理解不足）」。

Q8. デイジー教科書への要望・意見等

Q8-1. デイジー教科書で便利な点



Q8-2. 2026 年度新規付加機能(テキストコピー機能)のニーズ分類に対する意見



テキストコピー機能の必要だと思う理由の分類(AI による解析)

【意味調べ・理解の補助】が最多で、分からない言葉を「その場ですぐ調べる」ための活用。

- 即時検索: 単語をコピーして、WEB 検索、画像検索、辞書へ貼り付ける。
- 語彙の補完: 語彙力が少ない、あるいは物語の背景知識(例: こんぎつねの時代背景など)がない児童のイメージ作り。
- AI 活用: 生成 AI 等に貼り付けて、より分かりやすい表現に噛み砕いて説明してもらう。

Q8-3. デイジー教科書への全般的な要望分類(AIによる解析)

計 156 件、1 人の複数カテゴリにわたる要望は別カウントとして解析

カテゴリ	要望 件数	割合 (%)	主な要望・課題の内容	傾向と課題のポイント
1. 音声・読み 上げ機能	35 件	22.4%	抑揚やイントネーションの改善(機械音への恐怖感)、読み間違いの修正、自動再生の ON/OFF、読点での一時停止	声の品質向上だけでなく、児童生徒のペースに合わせた細かな制御機能が求められている。
2. 申請・ダウンロード・操作性	31 件	19.9%	手続きの複雑さ、毎年のダウンロードの負担、オフライン利用の難しさ、ログイン画面の分かりにくさ	ICT が苦手な保護者や学校でのダウンロードに障壁があり、簡略化や直感的なUIが望まれている。
3. 周知・普及・ 理解促進	28 件	17.9%	学校・教員・教育委員会への周知不足、周囲の理解(印刷物障害・ディスレクシア)の必要性、導入の地域格差	存在を知らない学校や拒否されるケースがあり、教育現場への啓発が強く求められている。
4. 学習支援・ 機能拡張	24 件	15.4%	直接の書き込み(ペン機能)、プリント・テストのデジタイ化、辞書・語彙検索機能、多言語対応	読むだけでなく、書く・解くといった「アウトプット」や「言葉の意味理解」への連動が期待されている。
5. 画面表示・ レイアウト	21 件	13.5%	紙の教科書とのページ・レイアウトの一致、UD フォントの採用、操作ボタンの非表示(全画面化)	授業中に紙の教科書と併用する際のズレの解消や、視覚的な集中力を保つためのシンプルな表示の要望。
6. 対象学年・ 教材の拡大	12 件	7.7%	中学校・高校での継続利用、他学年教科書の利用、利用期間の延長、未収録単元の対応	進級時や、教科書の改訂・使用順序の変更に伴うデータ利用の柔軟性が求められている。
7. 価格・費用 面	5 件	3.2%	アプリの価格引き下げ、複数端末での購入負担	家庭で複数端末に導入する際などのコスト面への意見。

1. 音声・読み上げ機能の改善に関する事例

- ハイライトで読み上げているとき、読点で止まる機能があればうれしい
- 読み上げ音声に抑揚がないため児童が途中で飽きてしまう。子供が読み上げの声が怖いと言って再生したがない時がある、聞きやすい音声にして欲しい
- ページを指定すると音声読み上げが自動で始まってしまう。スタートを押すなど、自分で学習を始める意識を持たせたい
- 日本語のイントネーションが変なものが多くあります。また、熟語の読みの間違いが時々ある
- 音声を利用者のこのみで選べるという

2. 申請・ダウンロード・操作性に関する事例

- 毎年やり方を忘れてしまいかなり時間がかかる。ダウンロードの方法がもう少し簡単に出来ると嬉しい
- 保護者に申請を依頼すると、操作などが苦手な方は期間を要し、子どもたちの利用に結び付くまでにかなりの期間が必要となる
- 学校のパソコンから申請したときダウンロードができなかった。どのパソコンからでも申請、ダウンロードできるようにしてほしい
- オフラインでの利用の仕方がもう少し簡単になると助かります

3. 周知・普及・理解促進に関する事例

- 教育機関でもまだまだ周知されていない印象です。学校の先生がこの情報を正しく知り、助言を与える必要があると感じています
- 困り感があってもデジターを知らないご家庭も多いので、音声教材が当たり前に広まって欲しい。学校や社会で講演会を開いてほしいです
- 学校単位や教育委員会が一括で導入してくれたら、最初の一步が踏み出しやすい。理解のある教頭でないと、相談しても却下される

4. 学習支援・機能拡張に関する事例

- プリントやテスト等のデジター化が簡単にできるような機能があればよい。中学校の定期考査や入試にも使えるようになるといい
- デジター教科書に直接書き込みが自由にできると良い(タッチペン機能など)
- 英語にも、カタカナルビ機能をつけてほしい。
- 外国語での説明文書があると(外国籍の保護者に)勧めやすい。多言語対応やポップアップ式の辞書機能があればさらに重宝する

5. 画面表示・レイアウト・フォントに関する事例

- 教科書と同じページ割り当て画面があればもっと使いやすい。絵や図の位置、文章の何行目など、授業で活用しやすい
- フォントがゴシック体なので読みづらい(LD があがり潰れて見える)。できれば UD フォントを採用して欲しい
- 画面上部にあるアイコン(速度調整や早送りなど)が気になり、集中できない児童がいる。ボタンを非表示にできる全画面機能がほしい
- 声だけで操作できるモードがあったら嬉しい。(点字使用者)

6. 利用期間・対象学年の拡大に関する事例

- デジター教科書は該当学年のみの使用なので利用期間を延ばしてほしい(過去の学年のものも使いたい)
- 中学校、高校でも利用できたらありがたい。高校の教科書ももっとデジター教科書になったらいいと思います
- 理科や社会で、授業が教科書の 1 ページ目から始まらず後半の単元からだったため、新しい単元がダウンロードできなくて困った

以上